

# 「第30回市民健康の集いのアンケート」の結果について

H20年10月12日(日)に開催されました市民健康の集いでは大勢の市民の皆様よりアンケートのご協力を頂きました。その結果がまとまりましたのでご報告致します。

## 庄内プロジェクト緩和ケアに関するアンケート

### アンケート協力者 144名

◆各項目のあてはまるところを○でかこんでください。

Q1・あなたご自身について教えて下さい。

①年齢： 10代(2名)・20代(5名)・30代(16名)・40代(15名)・50代(22名)  
60代(38名)・70代(44名)・無回答(2名)

②性別： 男性(30名)・女性(95名)・無回答(19名)

③住所： 鶴岡市(110名)・その他(2名)・無回答(32名)

④ご自身について ご本人が、がん患者である(8名)・家族にがん患者がいる(26名)  
無回答(81名)

⑤医療関係者である： はい(11名)職業(看護師、精神保健福祉士、医師、歯科医師、事務職)  
いいえ(88名)・無回答(45名)

Q2・「緩和ケア」という言葉についてご存知ですか。

1. よく知っている(42名)
2. 聞いたことはあるがよく知らない(72名)
2. 聞いたことはない、知らない(30名)

Q3・「緩和ケア」の内容について。

1. 緩和ケアについて知っており、居住地域で利用可能なことも知っている(29名)
2. 緩和ケアについて知っているが、居住地域で利用可能なことは知らない(38名)
3. 緩和ケアという言葉は知っているが、内容は分からぬ(64名)・無回答(13名)

Q4・がん緩和ケアについて

1. 大変興味があり詳しい話を聞いてみたい(69名)
2. 緩和ケアを受けてみたい(33名)
3. あまり興味がない(27名)
4. 必要とは思わない(4名)・無回答(11名)

Q5・がん医療について不安、不満を感じたことはありますか？

1. はい(89名)
2. いいえ(54名)
3. 無回答(1名)

〔はいと答えた方は、何に対して感じましたか〕(複数回答有)



1. 医師、看護師の対応に対して（19名） 2. 治療法や薬などに（26名）  
3. 医療機関やがんに関する情報の入手方法やその情報の信頼性などに（34名）  
4. 医療費について（25名） 5. その他（5名、医師のモラル等） 6. 無回答（1名）

Q 6. 在宅医療に対して、もっているイメージ（複数回答可）

1. 自分らしく自由に過ごせる（62名） 2. 苦痛を充分に和らげることは難しい（28名）  
3. 急な変化や夜間の対応が難しい（44名） 4. 家族の負担が大きい（81名）  
5. お金がかかる（24名） 無回答（7名）

Q 7. 市立庄内病院の緩和ケアサポートセンターをご存知ですか。

1. 知っている（51名） 2. 知らない（92名） 無回答（1名）

その他ご意見、ご感想がありましたらご自由にお書きください。

- \* 「緩和ケア」について情報を知らなかつたので個別訪問してPRして下さい。
- \* 鶴岡市の医療は10年前。
- \* 急な対応に地域のかかりつけ医に往診してもらいたい。
- \* 不安なことを主治医に相談できることは非常に安心です。
- \* 早期発見により治せるがんも多くなってきているものの、まだまだ怖い病気なのでもっと色々な面で「がん緩和ケア」について広めてほしい。
- \* 「緩和ケア」について知らなかつたので少し関心をしめそうと思った。
- \* 市立庄内病院の緩和ケアサポートセンターについてもっと知りたいと思う。自分が「がん患者」で痛むのが怖いので。
- \* もっと広めてほしい。
- \* 家族にがん患者がいないのでピンとこない。
- \* 父が、がんだったので関心はある。
- \* 大都市と違い、報道されるような治療がここでは受けられないことが不安。
- \* 自分が、がんでないので深く考えていない。
- \* いつどんなところで相談してもらえるのか解らない。
- \* 以前より親切になってきた。良いことです。
- \* 大勢の市民の方が参加していることに驚きました。庄内プロジェクトの成功を祈ります。

ご協力ありがとうございました。

庄内プロジェクト事務局（鶴岡地区医師会・市立庄内病院）



緩和ケア普及のための地域プロジェクト（厚生労働科学研究 ガン対策のための戦略研究）

H 20.10・12(日)



緩和ケア普及のための地域プロジェクト（厚生労働科学研究 ガン対策のための戦略研究）